

国際ロータリー第2840地区<群馬>2013-2014年度

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER
to Rotary club presidents and secretaries



群馬県のマスコット
「ぐんまちゃん」
許諾第25-190330号

2013
12



本田ガバナー事務所

〒371-0855 群馬県前橋市問屋町2-2 前橋問屋センター会館1F

TEL:027-212-2840 FAX:027-212-2841

E-mail:honda@rid2840.jp

12月号
Vol.6

2013年12月1日発行

第4分区 B のホープ Our Hope



「ポンちゃん」

毎月各クラブの
若手3名の笑顔を
掲載しています。



館林 RC 関口 昇



館林 RC 田部井 剛史



館林 RC 本島 克幸



大泉 RC 須藤 幸彦



大泉 RC 廣田 敦



大泉 RC 松本 恵理子



館林西 RC 内田 年一



館林西 RC 小巻 行雄



館林西 RC 斉藤 定男



館林東 RC 飯塚 崇



館林東 RC 川島 勝



館林東 RC 待山 ラファット



館林ミレニアム RC 伊藤 幹泰



館林ミレニアム RC 坪井 直良



館林ミレニアム RC 山口 亜晃

「ポンちゃん」は館林市のキャラクターです。



「ガバナー月信」12月号目次

表紙.....	01	一年間の派遣生活を終えて	16
目次、笑顔の会員紹介.....	02	RLI パートⅡ 報告	17
ガバナーメッセージ	03	パストガバナーエッセイ 清パストガバナー.....	18
シドニー国際大会早期登録について	04	パストガバナーエッセイ 山崎パストガバナー	19
2013年規定審議会 詳細レポート第6回（最終まとめ）...	05	私のロータリーモメント 布施 光一	20
地区指導者育成セミナー・		私のロータリーモメント 堀口 正孝	21
RI 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会報告.....	06	本田ガバナー・コラム「ロータリーの誤解・正解」...	22
国際ロータリー第 2840 地区		地区主要行事一覧および周年行事予定クラブ	25
2013-2014 年度地区大会報告	08	新会員紹介.....	27
地区大会 友愛ブース寄付集計額報告	10	訃報.....	29
RYLA 研修会報告	11	文庫通信.....	30
RYLA 研修会で学んだこと	12	出席報告.....	31
RYLA 研修会へ参加して	13	ガバナー月信についてのお願い／編集後記	32
青少年交換学生選考会報告.....	15		

笑 顔 の 会 員 紹 介

氏 名	関口 昇	田部井 剛史	本島 克幸	須藤 幸彦	廣田 敦
クラブ名	館林	館林	館林	大泉	大泉
会 社 名	(株)ハフナーフラワー ショップ花もり	田部井保険事務所	本島建設(株)	リペアショップMTO	(株)群馬銀行 大泉支店
職業分類	花配布	損害保険	道路建設	自動車板金塗装	商業銀行

氏 名	松本 恵理子	内田 年一	小巻 行雄	斉藤 定男	飯塚 崇
クラブ名	大泉	館林西	館林西	館林西	館林東
会 社 名	三浦医院	(株)内田工務店	(株)真輝	(有)しのづか陣屋	飯塚接骨医院
職業分類	内科医	建築工事	電気通信工事	割烹	接骨医

氏 名	川島 勝	待山 ラファット	伊藤 幹泰	坪井 直良	山口 亜晃
クラブ名	館林東	館林東	館林ミレニアム	館林ミレニアム	館林ミレニアム
会 社 名	(有)カワシマ コーポレーション	待山通商(株)	伊藤ビル管理(有)	大道寺	(株)エーアグレス
職業分類	不動産業	自動車販売	清掃・警備業	仏教	貿易業



ガバナーメッセージ

公式訪問、いよいよ最終コーナー。
そして、12月は「家族月間」です。

2013-14 年度

ガバナー 本田 博己

会長・幹事の皆さんこんにちは !!

地区大会の事後アンケートにご協力いただきありがとうございました。新しい試みの多かった地区大会を、多くの方が楽しんでいただけたようです。特に、分区・グループの代表者による「ロータリーモメント」の発表は多くの参加者が高く評価しています。記念出版した『私のロータリーモメント』は、感動体験の宝庫です。私たちのクラブの「希望」は、お一人お一人の「ロータリーモメント」の中にあります。全クラブに会員全員分お届けしましたので、ぜひご一読ください。

クラブへの公式訪問は、9月にスタートして、これまで42クラブを担当のガバナー補佐とともに回り、4クラブを残すだけとなりました。直接にお話をうかがうことで学ぶことが多く、一番勉強になっているのは、ガバナーである私自身だと実感しています。現況報告書だけでは伝わらない各クラブの課題やご苦勞を私なりにしっかりと受け止めました。皆様からいただいた各クラブの情報や知恵や課題を地区内で共有することが大切だと感じています。

さて、12月は「家族月間」(Family Month)です。「家族」といえば、普通、夫婦や両親・子供・孫のように自分の家族を思い浮かべますが、「ロータリー家族」(Rotary Family)という場合は、もっと広い意味を表しています。元会員・物故会員も含めロータリアンすべてとそのご家族、そしてインターアクター、ローターアクター、青少年交換学生、ロータリー財団奨学生、米山奨学生など、ロータリーに、過去から現在に至るまで、関わったすべての人々を含めて「ロータリー家族」と呼んでいます。

現在、世界のロータリアン数は、122万人を超えています。ロータリー108年の歴史を考えれば、ロータリー家族と呼ばれる人々は数千万人に及ぶでしょう。そしてこれまでロータリーのポリオプラスによって、20億人以上の子どもがポリオの感染から免れてきました。

今では、ロータリーが存在しない世界を想像することができないほどの世の中への貢献をロータリーは成し遂げてきたのです。私たちロータリアンは、「献身的な人々の世界的ネットワーク」であるロータリーの一員であることを誇りに思うべきです。

12月の家族月間が、ロータリー家族の絆の大切さとロータリー理念の実践の重要性・偉大さを再認識する月になることを期待しています。



シドニー国際大会早期登録について

オンツー・シドニー委員長 佐藤 修

2014年6月1日～4日に開催されます「シドニー国際大会」の一次登録締切が12月15日です。
早期登録で割引料金となります。

登録カテゴリー	登録締切日1 2013年12月15日	登録締切日2 2013年3月31日	現地登録 4月1日以降
ロータリアン	US \$ 310	US \$ 360	US \$ 410
19歳以上の家族	US \$ 310	US \$ 360	US \$ 410
ローターアクター	US \$ 66	US \$ 99	US \$ 132
5～18歳のゲスト	US \$ 11	US \$ 11	US \$ 11
5歳以下	無料	無料	無料

第2840地区 参加コース 日程案

ご日程表 国際ロータリー第2840地区 様 世界大会2014年シドニー
シドニー 4泊6日【行程案】

日数	月日(曜)	地 名	現地時間	交通機関	スケジュール	食 事
1	2014年 5月30日 (金)	東京(成田)発	19:50	JL771	空路、シドニーへ(機内食1回) (直行便利用) <機中泊>	
2	5月31日 (土)	シドニー着	06:35	専用車	到着後:現地ガイドの出迎えを受け 半日市内観光の後、ホテルへ (ホテルチェックインは15:00以降となります) 夕食:市内レストランにて <シドニー泊>	昼:○ 夕:○
3	6月1日 (日)	シドニー		専用車	日本人朝食会参加 国際大会開会式出席 夕食:ディナークルーズ (John Cadman号) <シドニー泊>	朝:○ 昼:× 夕:○
4	6月2日 (月)	シドニー		専用車	終日:ブルーマウンテン1日観光 夕食:市内レストランにて <シドニー泊>	朝:○ 昼:○ 夕:○
5	6月3日 (火)	シドニー			終日:自由行動 オプションツアーをご用意しております <シドニー泊>	朝:○ 昼:× 夕:×
6	6月4日 (水)	シドニー発 東京(成田)着	8:15 17:05	専用車 JL772	現地ガイドと共に空港へ 空路東京(成田)へ(機内食1回) (直行便利用) 通関後解散、お疲れ様でした。	朝:×

(ご注意)この行程は2013年9月1日現在の運行予定スケジュールを基準としております。 ※JL:日本航空

〈ロータリー世界大会 募集のご案内〉

旅行のポイント!

- シドニーへの直行便をご利用頂きます。
- ビジネスクラスご希望の方は経由便となります。

■旅行実施時期

2014年5月30日(金)～6月4日(水) 4泊6日

■ご旅行代金

・大人お一人様 298,000円(エコノミークラス)
※別途、空港税(9,740円)・燃油サーチャージ
【42,000円(9月1日現在のため変動あり)】がかかります。

■その他費用

お一人部屋追加料金……………65,000円
大会登録代行料金……………5,000円
渡航手続代行料金……………3,150円

■募集人員

25名様(最少催行人員10名様以上)

■お申込み方法

裏面のお申込書に必要事項をご記入の上、ご提出
ください。(郵送又はFAXにて)

■申し込み締切

2013年12月20日(金)必着

■利用航空会社

日本航空

■利用宿泊ホテル

リッジス・ワールドスクエア・シドニー、ノボテル・シド
ニー・セントラル、ザ・グレース・ホテル、ザ・スター・ホテ
ル、パークロイヤル・ダーリング、ハーバー・ベイビュ
ブルバード・シドニー、ホリデイ・イン・ダーリング
ハーバー、メルキュール・シドニー 又は同等クラス

■食事

朝3回、昼1回、夕3回(※機内食は含みません)

■添乗員

全行程添乗員が同行します。

※6月2日(月)会長主催昼食会、6月3日(火)リーダー
シップ昼食会は各自ご手配をお願いします。
※日本人朝食会は11月頃に発表予定です。各自ご手配
をお願いします。

お問い合わせ

本田ガバナー事務所 TEL 027-212-2840

JTB関東法人営業群馬支店(新井・飯塚) TEL 027-224-4113



2013 年規定審議会 主な立法案採択の経緯 詳細レポート 第6回 (最終まとめ)

次回の2016年規定審議会に向けて

2013 年規定審議会代表議員
パストガバナー 曾我 隆一

今回の規定審議会 (COL) 詳細レポートのまとめとして、これからの課題について私見を述べて見たい。先ず、クラブ・地区レベルのCOLについての関心度を高める必要性を感じている。規定審議会がRIの組織規定を改正できる権限をもっている唯一の立法機関であること。つまり、一人一人のロータリアンが手続要覧に記載されているRI定款、RI細則、標準ロータリークラブ定款を改正できる権限を有しているものであり、決してRIから一方的に押しつけられる筋合いでは無いと、認識を新たにするとところからが出発点である。

その為には、地区のガバナー、パストガバナー、役員が先頭に立って啓蒙活動をする必要を感じる。そして、クラブから積極的にCOLに立法案を提出する行動に結びつけること、が結果的にクラブと地区の活性化に寄与するものと信じる。

次にCOLに出席する代表議員 (一地区一名) について自らの反省を含めてであるが、シカゴでの一週間連日の審議会は、物理的・肉体的に極めてハードなものである。毎回何人かは体調を崩して緊急入院をすることもありがちである。従って、RI細則第8条 (8.020.3.) に記載の通り全期間に耐え得る気力・体力が要求されていることから、代表議員の選出については配慮する必要がある。単に、ガバナー経験者であれば良いというわけではない。(ロータリー章典 59.040.2)

今回出席してみて大事なことは、日本全国レベルでの事前研修会をより一層充実する必要がある。今回でも全国の代表議員の経験者の中から世話人を複数選び、勉強会を重ねて、提出する立法案の想定問答や内容の検討、議事運営の心得等々かなり多岐にわたる事前準備が極めて有効と感じた (世話人の負荷は高いので大変)。

2014年になると、2016年規定審議会への立法案提出のステップが始まる。2014年末までに地区からRIに立法案 (5件以内) を提出しなければならない。そのためには、地区の規定審議会立法案検討委員会にて、各クラブからの立法案を審議し、次年度竹内年度の地区大会 (2014年8月) で決議する必要がある。詳細は、別途クラブにご案内申し上げるが、2014年4月末までに、各クラブからの立法案を地区に提出していただきたい。

前は2クラブからの提出にとどまったが、今回はもっと多くのクラブからの提案を期待したい。規定審議会は、私たちの意思でロータリーを変えることができることを実感できる素晴らしい機会である。

最後に、日本のロータリアンとして、ロータリーの未来に対する方向性 (正に、長期戦略) を普段から育む機会をもち、世界からの代表議員と渡り合う気概と準備をしておくことが肝要である。

そのためには、クラブを超えたネット・ワークを築くべく、クラブから地区へそして世界へと人材を送り出し、地道な努力をすることが大切であろう。



地区指導者育成セミナー・RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会報告

江崎代理は本物のジェントルマンでした！

地区副幹事 板垣 忍

ダブルで襲ってきた台風もなんのその、齋藤一雄実行委員長率いる精鋭前橋部隊の鼻息で恐れをなしたのでしょうか、当日の昼前には雨も上がり、前橋商工会議所会館は地区内各クラブの会長・直前会長・幹事並びに地区役員の皆さんの活気に満ちた話声で一杯になりました。

10月26日（土）午後2時、《クラブを元気にしよう》のテーマの下「地区指導者育成セミナー」が開会となりました。本田ガバナーからのご挨拶、曾我地区研修リーダーによる趣旨説明と続き、江崎柳節RI会長代理に基調講演をしていただきました。

いつもニコニコされている江崎RI会長代理は、前日の夕方に来橋され、本セミナーと地区大会での講演に使用されるパワーポイントの資料を、直前までチェックされ、最新・最強の資料を集め、常に周りの人に提供したいと願う、本当の意味でのロータリアンであります。ただニコニコしているだけのどこかの地区幹事とは大違いであります。

その後、ガバナー賞を受賞した飛びっきり元気な5クラブから活動事例発表をしていただきました。個性溢れる発表をしていただいたのは以下の方々です。

桐生西RC 高森 勉幹事、太田RC 中野正美直前会長、渋川RC 佐藤和夫直前会長、

高崎南RC 関口啓子直前幹事、前橋RC 山田邦子直前会長

この発表を受けて、竹内ガバナーエレクトの進行により各クラブより感想や意見を頂き、最後に横山地区研修副委員長の講評で終了いたしました。

歓迎晩餐会は、164名のロータリアンにご出席いただき、伊勢崎在住の「夢のオーディション日本代表」荒井梨里さんのミニライブや前女・太女OGの「エール」によるミュージカルショーを楽しみながら盛会裡に終了することが出来ました。

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

to Rotary club presidents and secretaries
2013-2014 Vol.6





国際ロータリー第 2840 地区 2013 - 2014 年度地区大会報告

ロータリアンによるロータリアンのための大会だあ！

地区幹事 板垣 忍

一夜明けて天高く秋晴れの日曜日、新しい試みが詰まった地区大会の開会となりました。登録受付と同時にオープンした友愛の広場は、ロータリー家族も加わり、笑顔がはじける楽しい団欒の広場として大いに賑わいをみせました。

さて、本会議は順調に進行し、順調すぎて 30 分も早くお昼休みとなりました。

ここで、ちょっといい話です。江崎RI会長代理の所属しておられる小牧RCから転勤して群馬に来られたメンバーと、会長代理がお昼休みの友愛の広場でばったり！！じぇじぇじぇ、それはそれは嬉しそうなお二人ではありました。

11 時にエクスカッションにお出かけになられた奥様方は、温井副幹事のオモテナシ心いっぱいの計画通り、水沢うどんで満腹に、夢二記念館で心も満タンに、ハルナグラスで大好きなお買い物とフルコースを堪能されたご様子でした。

3 時、いよいよ、今大会のメインと位置付けておりました参加クラブ紹介とモメント発表の時間となりました。狙い通り！やっぱり多くのメンバーが会場に残っていてくれました（笑）。モメントの発表も素晴らしく、ウルウル来てるのは私だけではなかったようでした。

ガバナーエレクト・ノミニーからご挨拶を頂き、次年度の太田クラブのアピールの後、江崎会長代理より身に余る講評を頂き、本田ガバナーの心からの謝辞、山田副実行委員長の閉会の辞と続き点鐘となりました。

懇親会は、前橋クラブの宝塚歌劇団OG遠山昌子さんを中心に 2 人のOGを加えたショータイムから始まり、大いに盛り上がり、充分ご用意させていただいたつमりの食事もきれいに無くなり、参加された皆様方のご協力楽しい時間を過ごすことが出来ました。ありがとうございました。

ここでちょっといい話その 2 です。懇親会終了後、エイド役の横山パストご夫妻の車でお帰りになった江崎会長代理の最後のお言葉は、「ブラボー！」でした。本当に品格高いお人柄の中にも、心温まる会長代理でありました。

改めて、こちらから心を込めて「江崎柳節・多喜子ご夫妻、ブラボー！！」



地区大会 友愛のブース 寄付集計額報告

地区大会の友愛のブースでは、皆様からたくさんの心温かいご寄付を頂き、誠に有難うございました。

【米山記念奨学委員会】



寄付集計額

¥151,802

【ポリオプラス委員会】



寄付集計額

¥180,103

PYLA 研修会報告

第 13 回 (通算 33 回) RYLA 研修会を終えて

RYLA 委員会 委員長 中村研司

平成 25 年 11 月 3 日 (日) 及び 4 日 (月・祝) の二日間、館林市の赤羽公民館・曹洞宗普済寺、そしてつつじが岡パークインを会場に第 13 回 (通算 33 回) RYLA 研修会が実施されました。

今回の研修会は、「希望を語ろう！」をメインテーマに、そしてサブテーマに「水の問題から見える、日本の事・世界の事」として募集をかけさせていただきました。RYLA 研修会は、会場によっては多い時には 200 名規模で実施していましたが、館林市の地には残念ながらそのような大規模の施設が無い為、募集にあたっては申し訳なかったのですが、年齢層を限定させていただき、最終的には 94 名のご登録を頂きました。

開講式に於いては、本田博己ガバナー・小池敏郎館林 RC 会長・田部井孝一 RYLA 実行委員長からご挨拶を頂き、研修生たちにとって、そして館林 RC にとって待ちに待った研修会が始まりました。

まずは、関東短期大学非常勤講師赤坂一郎先生にウェルカムゲームをして頂き、研修生の緊張を解すと共に、メンバー間の親近感を深めてもらいました。昼食後、いよいよメインの研修会が始まりました。今回の講師はく水ジャーナリスト／アクア・コミュニケーター＞アクアスフィア代表の橋本淳司先生にお願いしました。実は今回の研修会に於いて、個人的には日程よりも講師選定を最優先していました。

この研修会では、水というテーマを学びながら、対話のスキル、発表するスキルも学べるようプログラミングしていただきました。スキル面では、ダイアログを活用して合意形成する技術、わかりやすく伝える技術を学んでいただきました。そして、研修のゴールは、「小学校 5 年生 (10 歳) 向けに 5 分間で水問題を伝えること」でした。また、初日の夕方には館林 RC 堀口一字パスト会長のご自坊で在らせられます曹洞宗普済寺さんを道場に、坐禅と写経を行う事により精神修養を図り、効果的な研修会となるよう努めました。

今回の研修のゴールであるグループ発表では、各グループがそれぞれ趣向を凝らして充実した発表を行っていた事からも、実のある研修会であったことを推し量ることができました。二日間という短い時間の中ではありましたが、参加者がこの研修会を通して、リーダーや良き市民としての資質を養い、人間として成長してくれた事を願っております。





- RYLA 研修会参加者全員の感想文は、後日報告書にまとめ、各クラブへ配布する予定ですが、今回は3名の方を掲載させていただきました。

RYLA 研修会で学んだこと

株式会社ヤマニ熱工業 神田 真美

私は RYLA 研修会に参加し、二日間という短い時間でしたが、多くの事を学んできました。

最初は、初対面の人とディスカッションをすることに、不安で一杯でした。何故なら私は、人見知りで、人前で自分の意見を言うことが苦手だからです。ですが、チームの一人一人が、自分の考えを述べられて、意見を言える人たちばかりでした。そのような環境に身をおくことで、自分自身も刺激を受け、少しずつではありますが、チームの中で発言が出来るようになりました。

話し合いを重ねる中で感じたことがいくつかあります。

まず、協調性が大事だということです。自分の言葉で意見を述べるというのは、とても難しいことです。意見をいうときに、話のテーマにおいて、的を得ているだろうか、考えがしっかりと伝わるだろうか、そのような不安を抱えつつ、発言をしていたのですが、いざ、意見を述べてみると、周りの人は相づちを打ちながら、最後までちゃんと意見を聞いてくれ、共感をしてくれました。そのような反応を受けたことで、話しやすい雰囲気が出来、次々と意見を述べられるきっかけになったと思います。

また、グループのみんなの意見を聞いて、どう思うか、などと、質問をすることで、話し合いの活性化に繋がったと思います。一人一人の意見を共有し、自分に置き換えて考えることが大切だと思いました。

研修全体の最後に、発表を行ったのですが、限られた時間の中で、練習し、構成を組み立てていくことも、とても難しいことでした。チーム全体が一つの目標に向かって、作り上げていくことが大切であると感じました。一人一人が責任感を持って、取り組んでいけたと思います。

「水」というテーマで、みんなの抱えている意見や、新たな発見がたくさんあり、メンバー全員の問題を、個々の問題として考えていくことが出来ました。また、話を繰り返していくなかで、メンバー一人一人を尊重して、相手の話を聞くことの大切さを学びました。

今回学んだことを、今後、あらゆる場面で生かしていきたいと思います。

このような貴重な経験が出来る機会を与えてくださり、ありがとうございました。



RYLA 研修会へ参加して

国際ロータリー第 2840 地区

地区ローターアクト代表 萩原 一貴

第13回RYLA研修会へ参加させていただきましてありがとうございました。ホストクラブの館林ロータリークラブの皆様にも貴重な機会を頂きましたことに感謝を申し上げます。

今回のRYLA研修会は私にとって4回目の参加でした。これまでの研修会もたくさんのことを得られるものでしたが、今回の研修会はすぐに仕事やアクト活動へ反映できるような私にとって得たいものを得られる研修会でした。研修会は「基調講演・ワークショップ」「坐禅・写経」「バーベキュー等の交流」の構成で進められました。「基調講演・ワークショップ」では水という人の生活に身近に存在する当たり前の存在について小学生へわかりやすく伝える、ということを行いました。この目的は「グループでどう協力していかにより多くの意見を出し合い、発表をまとめるか」つまりひとりひとりが自分をどのように表現できるか、させるか、だと思いました。そのために水という身近なテーマで意見を出しやすくしたのだと感じました。ご講演いただいたアクア・コミュニケーターの橋本淳司氏からは、発表をまとめるということまでにどのようなプロセスをたどり、どのようなことを話しあわなければならないかを時間制限を設けてグループで話し合わせる、という内容をお話いただき大変勉強になりました。また、水についての課題、諸外国の水環境の状況等も知ることができ自分の知識の幅も広げることができました。

「坐禅・写経」では、普段経験することができない体験ができ、非常に有意義な時間を過ごすことができました。坐禅は1度経験したことがあるのですが、20分間という短い時間にもかかわらず無音、無心の中ではとても長い時間に感じられ、長い時間集中するということの難しさを経験することができました。写経は初めての経験でしたが、一文字一文字を誠心誠意書くことができず、時間内に終わらせることを優先的に考えてしまい、自分の性格が文字に表れてしまいました。日々の生活においてもひとつひとつの物事をしっかりと丁寧に行わなければ1日全体が何も残らないものになってしまうのだろうと感じました。

研修会に参加していたローターアクト以外の研修生とは夜のバーベキューや部屋での会話を通してローターアクトという組織の説明や魅力などを伝え、私どもローターアクトは会員増強のひとつのチャンスとして動いておりました。その甲斐あり、数クラブに入会の見込みが立っております。このような活動からローターアクト、研修生同士の交流はもちろん、ロータリークラブの皆様と交流させていただく機会をいただけたことは私どもローターアクトにとっても非常に有り難いことだと深く感謝をしております。

結びに、改めてホストクラブである館林ロータリークラブの皆様へ感謝を申し上げるとともに、ロータリーファミリーの益々の発展をご祈念申し上げます。



RYLA 研修会へ参加して

米山記念奨学生 李明傑

私は前橋東ロータリクラブの奨学生李明傑と申します。

私は11月3日に館林で開いたライラ研修会を受けました。最初はちょっとした緊張感がありましたが、ウェルカムゲームをみんなでやって、緊張感が無くなりました。そして、この日の二つの中の一番面白い時間になりました。みんなでグループを分けてゲームをしたり、先生が言った種類別にチームが分かります。そこで私が忘れられないのは、先生が血液型によって分かれてくださいといったとき、A、B、O 型のみんな集まりましたが、AB 型の私は仲間が一人しかなくて、ちょっとさびしいって言うか、びっくりしました。70人ぐらいの人中に AB 型が二人しかないって言うのはちょっと驚きました。

ゲームが終わっての昼食はとても美味しかったです。

後は今度のメインつまり水の問題の研修を始めました。これはこの日の二つ目の面白い時間でした。みんなは班ごとにわかれて、先生の講義を聞きながらグループワークをすることです。この講義で私は水に関して、以前分からなかった問題を分かるようになりました。知識を増える感じがいいです。そして班ごとにリーダーを決めて発表とかするのがとてもリーダーシップの鍛えになると思いました。

この時間の後残念ながら私は翌日に祝日にもかかわらず学校があって帰らなくてはなりませんでした。カウンセラーと一緒に帰りましたが、今度またこんなことがあったらぜひ参加したと思います。

青少年交換学生 選考会報告

次年度の派遣学生を決める選考会を開催

青少年交換委員会 担当副幹事 星野 洋一

平成 25 年 11 月 9 日（土）、13:30 ～ 17:00 に前橋問屋センター会館にて青少年交換学生の選考会が実施されました。

いよいよ来年度の派遣に向けた事業がスタートしました。今回の応募学生は短期交換が3名、一年交換が6名の計9名です。今の若者の特徴を反映してか、応募者9名全員が女子でした。もう少し男子にも頑張ってもらいたい気がします。

当日は、本田ガバナーからロータリーと青少年交換についての目的や意義に関するご挨拶をいただき、その後、筆記試験、英会話試験、面接といった流れで選考会が進められました。筆記試験はさすがに慣れているらしく、試験時間40分のところ、全員が30分で終了しました。ただその後の英会話試験は、面談形式で入室から退室まですべて英語での会話が義務づけられ、皆さんかなり緊張している様子でした。

最後は、竹内 GE、生方 GN、板垣幹事、前原委員長による面接です。ここでは保護者の方も同席していただき、お話を伺いました。保護者の方には、待ち時間を利用して交換学生プログラムのオリエンテーションも受けていただきましたが、お子さんの夢を叶えるため、真剣な表情で参加されていました。約3時間の長丁場となりましたが、ROTEX メンバーの的確なサポートもあり、スムーズな進行で終了することができました。

この後、選考会の結果をもとに派遣学生の選定の検討を行い、約1ヶ月後には内定者が決まります。残念ながら応募学生の全員に内定を出すことはできませんが、今回縁に恵まれなかった方も、自分の夢を簡単にはあきらめなくて、いろいろなことにチャレンジしていてもらいたいと思います。

そして、青少年交換プログラムはスポンサークラブとホストファミリーなくして成り立ちません。各クラブ様の積極的な参画と応募学生へのサポート、ホストファミリー募集へのご協力を、何卒よろしくお願い申し上げます。

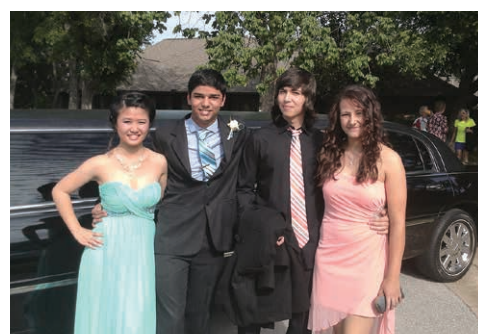


一年間の派遣生活を終えて

青少年交換プログラム 2012/2013 年度
テキサス州派遣 南出萌那

2012年9月4日私はテキサスの地に到着しました。これから一年どうなるのだろうとワクワクしながらも不安もたくさんありました。そんな気持ちでドキドキしていた私が到着ゲートを出ると、私のホストペアレンツが笑顔で待ってくださっていました。その時少し安心したのを覚えています。それから約7ヶ月、私は一度もホストファミリーが変わることなくずっと一緒に過ごすことができました。私にとってホストファミリーである“Farr Family”との出会いは何にも変えられない最高に幸せな出会いでした。彼らはいつも私を支えてくれ、正しい方向に導いてくれました。私が困っているとき、辛い時、泣いている時、嬉しい時、楽しい時に傍にいてくれました。私が間違ったことをしてしまった時はただ頭ごなしに怒るだけではなくて私を成長させるためにわざと考えさせるようにしてくれ、たくさんたくさん話し合いました。辛いことがたくさんあったけれどその中で私は自分自身のことについてはもちろん、どれだけ私が支えられ恵まれた環境にいるかということを変えて学ぶことができました。派遣前も派遣中も派遣後もたくさんの方がいつも私の傍に居てくれました。

この一年で一番学んだのは周囲の方々の大切さです。日本とテキサスの家族、友達、世界各国にいる友達、ロータリアンの方々、皆さんがいなければ今の私はいません。こんなにも素晴らしい経験をさせてくれるチャンスをくださったロータリークラブには本当に感謝しています。ロータリークラブの派遣学生としてテキサスに行けた私は本当に幸せ者です。感謝の気持ちでいっぱいです。7月18日、私は今から約4ヶ月前に一年の派遣を終えてアメリカのテキサス州から帰国してきました。時間は恐ろしいほど早く過ぎ去ってしまいます。一瞬一瞬を大切に、また一つ一つの出会いを大切に自分の夢に向かって更に頑張りたいと思います。



RLIセミナー Part II 報告

活発なディスカッションが行なわれる

副幹事 温井 尚久

平成 25 年 11 月 10 日（日）、9:30 ～ 17:00 に前橋問屋センター会館にてRLI（ロータリーリーダーシップ研究会）セミナー Part II が実施されました。

松島地区研修委員の司会で開会となり、曽我地区研修リーダーより「会員が増加している地区、新しいクラブが生まれた地区もあり、大変うれしい状況です。2840 地区も本田ガバナーが掲げる 2000 名を目標にクラブの活性化に努めてください。」とご挨拶いただきました。続いて本田ガバナーよりRLIの理念、目的、セミナーの特徴、Part II のコース内容、Part I のアンケート結果報告などをガイダンスいただきました。

次に参加者は各セッション会場へ移動し、いよいよ研修がスタートしました。

セッション1会場では、「チーム作りとクラブ・コミュニケーション」、2会場では、「戦略計画とクラブ分析」、3会場では、「会員に惹き付ける（新会員勧誘）」、4会場では、「目標とする奉仕（ロータリー財団Ⅱ）」、5会場では、「米山記念奨学事業（米山記念奨学事業の基本と事業の意義）」、6会場では、「国際奉仕」をテーマにディスカッションリーダーを中心に熱い議論が交わされました。

そして、閉会式へと移りました。アンケート記入後、今回の研修でRLIセミナー Part I ～Ⅲまですべてを履修した3名の方々に終了バッジが授与されました。また、参加者を代表し、桐生ロータリークラブの坪井会長エレクトへ Part II の終了証が授与されました。

最後に横山パストガバナーより、「大変お疲れさまです。12月8日にPartⅢが実施されます。次回は全員が終了バッジをもらってください。そして、来年はぜひ、ディスカッションリーダーを務めてください。二宮尊徳は薪を背負って大学という本を読んでいます、足を一步踏み出しているのがすごい。皆さんは二歩踏み出しました。もう一步踏み出し、素晴らしいリーダーになってください。」とご挨拶いただき、閉会となりました。





パストガバナー エッセイ

古いことはいいことか

パストガバナー 清 章司
(2001-2002 年度ガバナー)

家業である寺の務めもそろそろしなければという自覚が芽生えて生家の群馬に落ち着いたのが昭和45年であったが、この地には地下鉄も空港もなく交通手段といえばマイカーに頼らざるを得なかった。昭和43年車のフォルクスワーゲンを買って乗り始めたのが45年前だった。いまだに健脚で用を足してくれている。当時は何とも思わなかったが5という一桁ナンバーは今では珍しくなった。最近おせっかいな友人が小生をクラシックカーマニアと錯覚し、5ナンバーのスカイラインを世話してくれた。同じ年代の車なので傷みはひどかったが少し手を加え外装などはピカピカの美しい流線型が再現された。時どき信号待ちなどをしていると後ろから降りてきて車種などを尋ねられることもある。

通称カブトムシのフォルクスワーゲンはアドルフヒトラーが1934年のベルリンモーターショーで提唱した国民車計画に従い著名な自動車設計者であるフェルデナント・ポルシェによって流線型のリアエンジン小型車が開発された。日本には1953年にヤナセが105台を輸入、日本への本格的な輸入が始まった。今では世界中の車が世界中に売られているがドイツ車を好む日本のドライバーも根強いものがあるようだ。かつてどん底のドイツをヨーロッパの経済大国に押し上げたのもフォルクスワーゲンを始めとする優秀な工業製品、そして勤勉で厳格、真面目更には伝統を大切にするという文化を持ったドイツの国民性の表れかとも思われる。

かつてロータリーでドイツからの夏期交換学生をうけいれたことがあった。その少年は祖父の代から使っているスーツケースを日本に持ってきていた。それがたまたまキャスターが壊れ、その修理をどうしようか思案にくれていた。ホームステイの家族に相談したところ、新しいものをプレゼントするから処分したらという提案に大変困惑し、思案にくれました。今でもその傾向はあるが使い捨て感覚が身についている日本人には奇異に感じ、またカルチャーショックでもあったのだろうか、その後それでは何とかしようということでカバン専門店に行き、合いそうなキャスターを取りつけてもらってとりあえず祖父伝来のスーツケースはまた活用出来るようになったのだが。古いものを大事にする、守り続ける欧州人の気質にふれ、「古いことはいいこと」ではないかと今でも確信している。そういえば私の住まいも大正年間の築でそろそろ100年近くになってきているが日々の暮らしにさしたる不便は感じていない。古いものに磨きをかけて使うのは私の文化と自負している。



パストガバナー エッセイ

目が笑っている

パストガバナー 山崎 學
(2004 - 2005 年度ガバナー)

平成 24 年 6 月 6 日午後 3 時 35 分三笠宮寛仁親王殿下が多臓器不全のため薨去された。66 歳という若さであった。平成 3 年に食道がんを患われて以降、癌の再発転移に悩まされ、平成 24 年 3 月までに 16 回の手術を受けられるといった、この 21 年間はまさに癌との戦いであった。親王殿下に初めてお会いしたのは 30 年前のある経済界の会合であった。院長室にその時のスナップ写真を飾っているが、お会いした時の第一印象はなんて笑い顔の爽やかな人なのだろうと思ったことであった。その時、何を話したのかは時が立ち過ぎて憶えていないが、爽やかで清潔な印象が残ったのを憶えている。その次にお会いしたのは平成 11 年日本精神病院協会創立 50 周年記念式典においていただいた時である。この時に親王殿下の精神科医療の問題点を鋭く指摘されたお話の中で「世の中に 100%の障害者も、100%の健常者も双方とも存在はしていません。人間とは必ずどこかに障害のある部分を持ち、健常なる部分をも併せて持って生きているというのが現実であることに気が付くべきです」というお言葉に鳥肌が立つような感動を覚え、お言葉通りにこれからも真摯に精神科医療に取り組まなければならないと思ったことだった。その後、お会いする機会もなく、平成 16 年国際ロータリー第 2840 地区ガバナーを引き受けた時に、地区大会の特別講義をお願いしたところ、快く御引き受けいただき、再会する機会に恵まれた。地区大会初日、新潟中越地震に見舞われたが、翌日の市民公開で行った特別講演に関越高速道で予定時間においていただき、約 2,500 人の市民、ロータリアンを前に、アナトリア文明を中心に古代オリエントについての講演を原稿なしにきっかり 1 時間にわたり皇族の日常生活の冗談を交えて歯切れのよいお話をされ、聴衆を魅了し、万雷の拍手を受けられた。その後、軽井沢ゴルフ倶楽部のロッカー室で時々お会いすると気軽に声をかけて頂くようになった。赤坂の三笠宮邸に御伺いした時に 100%の健常者・・・の件を御話し申し上げたところ、頷かれて大変にお喜びになっておられたのが今も記憶に残っている。親王殿下とお話しして感じるのは、かなり辛辣な御話をされるのに目が笑っている事であった。そして今でも鮮明に心に残っているのは「我々は国民から皇族という役を完全に演じ切ることを期待されている役者なんだよ。だから、国民の期待に応えられるように皇族という役を演じなければいけないんだ」というお言葉である。

6 月 14 日豊島岡墓地で行われた「葬場の儀」の後で行われた礼拝に参列し、親王殿下に最後の御別れをした時に私の胸に去来したのは親王殿下の慈愛に満ちた笑っている目であった。

お詫び：お二人の方のロータリーモメントが手違いで冊子に掲載されませんでしたので
月信に掲載させて頂きました。お二人には心よりお詫び申し上げます。



私のロータリーモメント

父の教えてくれたロータリー

群馬県ロータリークラブ
会長 布施 光一

私がロータリークラブを知ったのが今から46年前で、父がロータリアンでした。父の運転手を兼ね共に外出する機会の中で幾度となく「ロータリー」の名を耳にしました。ある時埼玉県川越市に出かけた際、父は後部座席で何やら冊子を見ながら「埼玉銀行へ行ってくれ。ロータリークラブに出席する。出席はロータリアンとしての一番の義務だからね。」というようなことを言われ、ロータリーは厳格な会なのだなと感じました。又、その頃何度か著名な方の例会日に送り迎えをしたりしました。いわゆる卓話のプログラムだったのです。また、商売上どうしてもお会いしたい方がいてなかなかアポイントが取れずにいましたら、その会社の秘書の方が、「もし良ければ今度の火曜日、弊社社長はロータリーの例会に出席しますので、そこでお会いしたら如何でしょうか」と。そしてその日、メイクをして難なくお会いすることが出来ました。また、仕事を依頼することがあり、その業界の方をあまり知らなかったもので、何処に頼もうか迷っていましたが、父が「この方のところにしよう、ロータリアンの会社なら間違いないからね」と。そうした数々のやり取りを見てきた私は、ロータリー、ロータリアンの信頼というものは何と素晴らしいのだろうと思いました。父が亡くなり私のロータリアンとしての生活がスタートしました。入会して早26年、入会当時の私が見てきたロータリーと現在では、時代と共に色々な変革がなされていますが、ロータリーの精神理念はきちんと受け継いで行けたら良いなと思っています。私は父の教え通り今のところ100%の出席を保っています。

お詫び：お二人の方のロータリーモメントが手違いで冊子に掲載されませんでしたので
月信に掲載させて頂きました。お二人には心よりお詫び申し上げます。



私のロータリーモメント

世界大会へ参加して

安中ロータリークラブ 会長 堀口 正孝

私は5年前の2008年より地区大会へ参加させて頂いていました。2011年10月、安藤ガバナーの時、高崎音楽センターであった地区大会に参加いたしました。

その時の記念品の中にタイのバンコクで行われる世界大会への参加を募集するパンフレットが入っており、それを見たときアジアのタイ、タイのバンコクへ行ってみたいものすごく思いました。家に帰り女房に話しました。私が「今年タイのバンコクで世界大会が有るので一緒に行ってみよう」と話すと「そんな所行きたくない」と一言で断られました。その後1ヶ月位同じことを言い合い、「とにかくバンコクには彼方の弟も仕事で行っているのだから会えるよ」と説得をし、しぶしぶOKが取れました。

世界大会の打ち合わせでガバナー事務所に入った時、安藤ガバナー、曾我隆一・横山公一・パストガバナー、本田博己ノミニー、井上広報委員長、前橋中央、伊勢崎、富岡などのクラブの皆様と同席しこんなすばらしい皆様と同行できるのだなと感激しました。

大会当日友愛の家へ見学を行い、バナー交換をし安中のクラブを代表して信任状を投票して来ました。その夜安藤ガバナー主催の晩餐会に参加しこのような皆様と御一緒出来ました。大会2日目、全員で本会議に参加しカルヤン・バネルジーRI会長の挨拶、次いで田中作次RI会長エレクトのスピーチを聞きその後田中作次さんの家族紹介が有りました。今後少しでも皆様に近づけるよう健康に注意してロータリーの勉強を続け、皆様と一緒に夫婦で5回世界大会に参加いたします。

ガバナー・コラム **ロータリーの誤解・正解** シリーズ〈第6回〉

第6回 ロータリーの原点とは？

ガバナー 本田 博己

「ロータリーの原点とは？」という問いに対する答えは百人百様です。108年の歴史を積み重ねてきた巨大な世界的ネットワークであるロータリーには多様な姿があり、一人一人のロータリアンは、それぞれ自身が体験してきたロータリーの一側面を語るからです。

「原点」という言葉を辞書で引くと、① 長さなどをはかるときの基準になる点。② 物事の根拠・根源になる出発点。③ 座標軸の交わる点。（大修館書店『明鏡国語辞典』）と、あります。「ロータリーの原点とは？」という問いの「原点」とは、もちろん ②の意味ですが、他の辞書でも「その問題の根源をなすにとらえられる要素」（三省堂『新明解国語辞典』）という語義が載っています。ロータリーの根源をなす出発点・要素としての「原点」として、どんなことが考えられるでしょうか。

ロータリーに「社会奉仕」や「職業奉仕」の概念が定着する以前、ロータリーが相互扶助（Back scratching）から始まったことを大事に思う人はクラブの中における「親睦」「Fellowship」が原点だと言います。

創立の1年後に入会したドナルド・カーターに「自分たちのことばかり考えている団体に発展はない」と指摘され、綱領（シカゴ・ロータリークラブの目的）に、会員の事業上の利益の増大と会員間の親睦に加えて、シカゴ市の利益の推進とシカゴ市への忠誠、すなわち、地域社会への貢献の1項が加わったことを重視する人は、「社会奉仕」が原点だと言います。この流れで、シカゴ・ロータリークラブが主導し市民運動にまで広げた、公衆便所の設置運動を原点とする人もいます。

1910年に開催された最初の全国大会で「全米ロータリークラブ連合会」の結成が決まったことが、世界的ネットワークとして発展する「国際ロータリー」の原点とされています。

「奉仕の理念（理想）」や「職業奉仕」という言葉に代表されるロータリーの理念や哲学を原点と考える人もいます。ロータリーの理念・哲学は1910年から1922年にかけて、つまり草創期の10数年のうちに確立したと言えます。

初期ロータリーの理念を代表する決議23-34を、ロータリアンとしての拠りどころとする人が日本のベテラン・ロータリアンには多くいます

クラブ・リーダーシップ・プラン（CLP）の導入・推進が奨励され始めた2005年頃、「ロータリーには四大奉仕部門という基本的な枠組みがあるではないか」と反発した多くの日本ロータリアンは、そのとき「四大奉仕」がロータリーの土台だと主張しました。（後に「五大奉仕」になりましたが）

「奉仕」と「親睦」がロータリーの両輪だと言う人がいます。

ポール・ハリスが強調した「寛容」「Tolerance」という言葉がロータリー精神の本質だという人がいます。



.....

いずれにしても、ロータリーの原点を語る人は、ご自身のロータリー観を語っている。そして、現代のロータリーのあり方に対するそれぞれの問題意識を表明されているのだと思います。ロータリー観や問題意識は人それぞれですので、「原点」についても「正解」はありません。

少し思考実験をしてみましょう。「現代日本の原点は？」という問いにあなたは何と答えますか？明治維新、普通選挙法の施行、婦人参政権の成立、太平洋戦争の敗戦、日本国憲法の制定、サンフランシスコ平和条約、等々、その人の歴史観や国家観、世界観によって様々でしょう。

それでは、「あなたの今の生活（人生）の原点とは？」という問いには何と答えますか？敗戦、高度経済成長期、ドルショック、オイルショック、バブル経済の崩壊、リーマンショック、東日本大震災、…。これも年代や職業、人生観の違いで答えも様々でしょうが、その答えは俄然、極めて個人的色彩を帯びるものとなります。「原点」を語ることは、それぞれのかけがえのない個人的体験を語ることでもあります。

私の個人的な体験として、これまでの人生で最も大きな出来事は、2011年3月11日の東日本大震災でした。原発事故も含めたあの災害は日本の運命を変えましたが、私の価値観や生き方、人生を変える大きな出来事でもありました。

福沢諭吉が『文明論之概略』（1875）の緒言で「恰も一身にして二生を経るが如く、一人にして両身あるが如く」と感慨をもらしています。自分の体は一つだが、明治維新の前後では、まるで違う二つの人生を生きているようだ、というのです。私も大震災のあの日以後、似た心境で過ごしています。

戦後生まれの私は、恥ずかしながら60歳を過ぎるまで、なんだか節目のないふわふわとした生活を送ってきたような気がします。

私は、あの日以来、ロータリーの世界的ネットワークの力と多くの日本のロータリークラブそしてロータリアン個人の献身的な奉仕に目を瞠る思いで、自分もその中で共に活動してゆきたいと強く願いました。ガバナー就任を打診されたのは、ちょうどその頃でした。

困難に直面している日本社会の中で、ロータリーは社会をより良いものに変えてゆく力と可能性があることを、私はこれからも地区ガバナーという立場で、追求したいと決意を新たにしています。

私のロータリーの原点となった個人的体験（それは私の「ロータリーモメント」（感動体験）でもあるのですが）は、二つあります。

一つは、ロータリーの「奉仕」「Service」や「奉仕の理念（理想）」が、私の経営理念やお客様に対する姿勢と完全に一致することに気がついたときです。ロータリーの理念をもっと深く理解し、ロータリアンとの交友を広げることが経営者としての成長につながるに違いないと気がついたときから、私はロータリーに積極的に参加するようになりました。入会して3年目のことでした。

もう一つの私の原点は、組織としてのロータリーは、私たちが私たちの意思で変えていくことができ



ることに気がついたときです。入会 5 年目に、クラブ幹事として『手続要覧』に目を通していたとき、規定審議会の立法案は個々のクラブが提案できる、と記載されていました。私たちの提案によって、ロータリーの規約や方向を変えることができる可能性があることに、私は興奮しました。今回の 2013 年規定審議会で、私の所属する前橋ロータリークラブから提案された制定案（13-141）が採択されました。私が『手続要覧』の記述を読んで興奮したときから 12 年が経っていました。

ロータリーの原点を語ることは、その人の個人的なロータリー観やロータリーに対する問題意識を語ることであります。たまには「ロータリーの原点」に関する議論を、ロータリーの仲間と語り合ってみてはいかがでしょうか。そこから、より深いロータリー理解と Fellowship が得られるのではないのでしょうか。それにしても、個人的体験を語るというのはちょっと恥ずかしいものですね。

追記

先月の『ガバナー月信』（11 月号）の本コラムで、『ロータリーの友』10 月号が「日本における『職業奉仕』論議のガラパゴス化と世界標準との『矛盾？』が現れた誌面」とであると指摘しましたが、『ロータリーの友』11 月号に、まさに世界標準の「職業奉仕」の記事が掲載されています。

それは、RI 指定記事の「ロータリアンのための職業奉仕入門」という 8 ページの特集です（横組み 35 ページ～ 42 ページ）。この特集では、「職業奉仕」は「自分の職業上のスキルを生かしてほかの人々を助けること」と説明され、具体的には、マーシーシップス創設者とのインタビュー、職業研修チーム（VTT）結成・派遣のアドバイス、ロータリー財団補助金活動の評価にあたる専門家グループの紹介等が載っており、「本号で、職業奉仕を実践するアイデアが見つかるでしょう」と結ばれています。

この RI 指定記事は、“the Rotarian” 11 月号にも掲載されています。目次には、“A Rotarian's guide to vocational service” というタイトルの下に “Using your professional skills is at the heart of Rotary” とあります。

日本のロータリアンと世界のロータリアンが、ロータリーの核心 “heart” である “Vocational Service” という言葉で共通の議論ができる日が一日でも早く来ることを心から願っています。



2013-2014年度 地区主要行事一覧 (年度前・上期)

	開催日	項 目	場 所
2012年	10月26日(金)27日(土)	第1回ガバナー補佐会議	ヘルシーパル赤城
	11月11日(日)	疋田年度 R財団補助金・管理セミナー	伊勢崎ブリオパレス
	11月29日(木)30日(金)	ガバナー・エレクト&次期米山奨学委員長合同セミナー	メルパルク東京
	12月 1日(土)	第1回ガバナー補佐・委員長予定者合同会議・研修委員会	前橋問屋センター会館
2013年	1月 5日(土)	第3回ガバナー諮問委員会・GE壮行会(疋田事務所主催)	桐生市市民文化会館
	1月13日～19日	国際協議会(ガバナー・エレクト)	サンディエゴ
	2月 2日(土)	第4回ガバナー諮問委員会(GE報告)(疋田事務所主催)	桐生倶楽部
	2月10日(日)	地区チーム研修セミナー	前橋商工会議所
	3月16日(土)	会長エレクト・次年度幹事研修セミナー (PETS・SETS)	伊香保 福一
	3月17日(日)	会長エレクト・次年度幹事研修セミナー (PETS・SETS)	伊香保 福一
	3月19日(火)	全国会員増強セミナー	ハイアットリージェンシー
	4月 6日(土)	ロータリー財団委員会 合同会議	伊勢崎ブリオパレス
	4月14日(日)	第2回ガバナー補佐・委員長予定者合同会議・研修委員会	前橋問屋センター会館
	4月21日(日)～26日(金)	規定審議会	シカゴ
	5月12日(日)	国際ロータリー第2840地区協議会	前橋商工会議所
	5月17日(金)18日(土)	ロータリー世界平和フォーラム広島	広島国際会議場
	5月26日(日)	11:00第2回ガバナー補佐会議 13:00地区会員増強セミナー	前橋問屋センター会館
	6月15日(土)	第5回ガバナー諮問委員会(疋田事務所主催)	桐生
	6月15日(土)	新旧地区役員連絡会議(疋田事務所主催)	桐生
	6月16日(日)	RAC地区協議会	群馬県昭和庁舎
	6月23日～26日	国際大会(本田ガバナーエレクト出席)	リスボン
	6月30日(日)	ロータリー財団地域セミナー	グランドプリンスホテル高輪
	7月 1日(月)	ガバナー・元・次期ガバナー懇談会	グランドプリンスホテル高輪
	7月 6日(土)	インターアクト合同会議	高崎商科大学
	7月 6日(土)	第1回補助金委員会	伊勢崎ブリオパレス
	7月13日(土)	第1回ガバナー諮問委員会	音羽の森 音羽倶楽部
	7月14日(日)	青少年交換委員会(夏期交換学生壮行会・歓迎会)	前橋問屋センター会館
	7月21日(日)	RLIディスカッションリーダー研修会 Part I	前橋問屋センター会館
	7月27日(土)	インターアクト年次大会	高崎商科大学
	8月 3日(土)	10:00 地区ロータリー財団セミナー	伊勢崎ブリオパレス
	8月 8日(木)	管理運営セミナー	前橋問屋センター会館
	8月10日(土)	RLIディスカッションリーダー研修会 Part II	前橋問屋センター会館
	8月11日(日)	青少年交換委員会(一年交換学生壮行会)	前橋問屋センター会館
	8月22日(木)	米山指定校説明会	前橋問屋センター会館
	8月31日(土)	青少年交換委員会(帰朝報告会)	前橋商工会議所
	9月14日(土)	地区米山奨学研修セミナー	前橋問屋センター会館
	9月22日(日)	RLIパート I	前橋商工会議所
	9月28日(土)	10:30 第3回 ガバナー補佐・委員長合同会議	前橋商工会議所
	9月28日(土)	13:30 第2回ガバナー諮問委員会	前橋問屋センター会館
	9月29日(日)	地区大会記念ゴルフ大会	サンコー72カントリークラブ
	10月 5日(土)	青少年交換委員会	
	10月19日(土)	青少年交換委員会	
	10月26日(土)	地区指導者育成セミナー	前橋商工会議所
	10月26日(土)	RI会長代理歓迎晩餐会	前橋商工会議所
	10月27日(日)	地区大会	ベシア文化ホール(群馬県民会館)
	11月3日(日)・4日(月)	RYLA研修会	館林
	11月 9日(土)	青少年交換学生選考会	前橋問屋センター会館
	11月10日(日)	RLIパート II	前橋問屋センター会館
	11月16日(土)	10:00 補助金管理セミナー	伊勢崎ブリオパレス

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER
to Rotary club presidents and secretaries
2013-2014 Vol.6



2013年	11月30日(土)	茶の湯研修会	
	12月 1日(日)	ロータリー財団地域セミナー(ゾーンセミナー)	東京 グランパシフィック La DAIBA
	12月 2日(月)	ガバナー会(GETS)	東京 グランパシフィック La DAIBA
	12月3日(火)4日(水)	ロータリー研究会	東京 グランパシフィック La DAIBA
	12月 7日(土)	青少年交換委員会	前橋問屋センター会館
	12月 7日(土)	米山学友会忘年会	前橋商工会議所
	12月 8日(日)	RLIパートⅢ	前橋問屋センター会館
	12月23日(月)	青少年交換学生クリスマス会	前橋商工会議所

2013-2014年度 地区主要行事一覧 (下期)

2014年	1月 6日(月)	16:00 第3回ガバナー諮問委員会 18:00 GE壮行会	ラ・フォンテーヌ
	1月18日(土)	10:00 第1回地区補助金審査会	伊勢崎プリオパレス
	1月26日(日)	米山記念奨学生選考会	前橋問屋センター会館
	2月 1日(土)	第4回ガバナー諮問委員会(GE報告)・規定審議会補欠議員選出	前橋問屋センター会館
	2月15日(土)	米山奨学生修了式・奨学生歓送会	前橋商工会議所
	2月23日(日)	新会員セミナー(RLI方式 1日コース)	前橋問屋センター会館
	3月20日(木)~23日(日)	インターアクト国際交流事業	台湾
	4月26日(土)	10:00 地区補助金最終審査会	伊勢崎プリオパレス
	4月25日(金)~26日(土)	インターアクト国際交流事業(受け入れ)	高崎商科大学
	4月27日(日)	新規米山奨学生カウンセラーセミナー	前橋問屋センター会館
	4月27日(日)	新規米山奨学生カウンセラー・米山奨学生オリエンテーション	前橋問屋センター会館
	5月25日(日)	16:00 第5回ガバナー諮問委員会	群馬県庁
	5月25日(日)	18:00 新旧地区役員連絡会議	群馬県庁
	6月1日(日)~4日(水)	国際大会	シドニー
	6月15日(日)	米山記念奨学生学友会総会	前橋商工会議所
	8月	会計監査報告	

2013-2014年度 周年行事予定クラブ

クラブ名	周年	予 定 日	開 催 場 所
前橋中央	20	2014年3月 1日(土)	前橋商工会議所
富岡中央	20	2014年3月 8日(土)	ホテルアミューズ富岡
高崎	60	2014年3月24日(月)	高崎ビューホテル
伊勢崎	60	2014年4月 5日(土)	伊勢崎プリオパレス
前橋	60	2014年4月12日(土)	前橋商工会議所
館林東	30	2014年4月20日(日)	レストラン ジョイハウス
渋川みどり	20	2014年4月29日(火)	アネーリ渋川
高崎サトル	15	2014年4月 4日(金)	高崎ビューホテル
前橋西	50	2014年5月10日(土)	前橋中央パソ広場(式典)・前橋リサ(記念事業)
伊勢崎東	20	2014年6月	伊勢崎プリオパレス
藤岡	50	2014年5月17日(土)	藤岡市みかぼみらい館

新会員紹介



新会員名 田部井 光男
ク ラ ブ 前橋東
入 会 日 2013 年 10 月 10 日
職業分類 建築請負業
勤 務 先 (株)田の字の家
役 職 代表取締役
推 薦 者 町田 仲廣



新会員名 北爪 浩之
ク ラ ブ 前橋南
入 会 日 2013 年 11 月 6 日
職業分類 生命保険
勤 務 先 プルデンシャル生命保険(株)高崎支社
役 職 シニア・ライフプランナー
推 薦 者 橘田 博



新会員名 山口 泰正
ク ラ ブ 前橋南
入 会 日 2013 年 11 月 6 日
職業分類 不動産業
勤 務 先 (株)山口不動産
役 職 代表取締役
推 薦 者 橘田 博



新会員名 茂木 聖二
ク ラ ブ 桐生南
入 会 日 2013 年 10 月 9 日
職業分類 銀行
勤 務 先 (株)東和銀行 桐生支店
役 職 支店長
推 薦 者 上野 文雄



新会員名 菊池 重厚
ク ラ ブ 伊勢崎中央
入 会 日 2013 年 10 月 3 日
職業分類 ビル清掃
勤 務 先 (株)グンビル
役 職 常務取締役
推 薦 者 小林 正弘・泉 哲雄



新会員名 塩屋 新一
ク ラ ブ 伊勢崎中央
入 会 日 2013 年 10 月 10 日
職業分類 店舗開発
勤 務 先 (株)住総
役 職 代表取締役
推 薦 者 小林 正弘・滝川 勝賢



新会員名 児島 清文
ク ラ ブ 伊勢崎中央
入 会 日 2013 年 10 月 17 日
職業分類 特定社労士
勤 務 先 児島労務管理事務所
役 職 代表者
推 薦 者 上柿 敬一・小林 正弘



新会員名 高沢 克治
ク ラ ブ 伊勢崎中央
入 会 日 2013 年 10 月 24 日
職業分類 クリーニング業
勤 務 先 (有)高沢クリーニング
役 職 代表取締役
推 薦 者 泉 哲雄・小林 正弘



新会員名 高木 均
ク ラ ブ 伊勢崎中央
入 会 日 2013 年 10 月 31 日
職業分類 建築土木
勤 務 先 (有)高木組
役 職 代表取締役
推 薦 者 牛久保 拓・泉 哲雄



新会員名 西野 宏
ク ラ ブ 高崎シンフォニー
入 会 日 2013 年 11 月 8 日
職業分類 循環器科医
勤 務 先 (医)城山クリニック
役 職 理事長
推 薦 者 小野垣 義男



新会員名 小川 昌幸
ク ラ ブ 太田
入 会 日 2013 年 10 月 24 日
職業分類 弁護士
勤 務 先 弁護士法人せせらぎ法律事務所
役 職 代表社員
推 薦 者 岡田 敏郎



新会員名 天沼 稔
ク ラ ブ 太田中央
入 会 日 2013 年 11 月 8 日
職業分類 歯科医
勤 務 先 あまめま歯科クリニック
役 職 院長
推 薦 者 武井 智明



新会員名 原 直道
ク ラ ブ 渋川
入 会 日 2013 年 10 月 10 日
職業分類 観光事業
勤 務 先 日本土地山林(株)
役 職 取締役社長
推 薦 者 千明 三右衛門



新会員名 上原 大介
ク ラ ブ 藤岡
入 会 日 2013 年 9 月 5 日
職業分類 司法書士
勤 務 先 上原大介司法書士事務所
役 職 代表
推 薦 者 岩井 智



新会員を

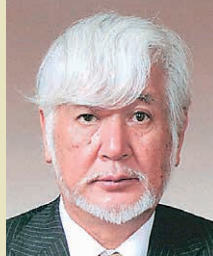
O・MO・TE・NA・SHI



訃報 心より哀悼の意を表します。

鶴谷 嘉武

- ・事業所名：医療法人鶴谷会 鶴谷病院 院長
- ・逝去日：2013年11月9日逝去(享年69歳)
- ・表彰
米山功労法人
米山功労者第3回マルチプル
ボールハリスフェロー



鶴谷嘉武先生は、病院経営と群馬県医師会会長という要職の中、クラブに貢献をして頂きました。先生の入会は昭和62年6月で、私も同じ年の1月でしたので年は先生が一つ上でしたが、クラブでは私が半年先輩でした。

平成2年の境小学校体育館で行ったクラブ20周年記念では、実行委員として活躍し、また海外からの青少年交換学生を積極的に受け入れてくれていました。

趣味は卓球、溪流釣り、お酒が好きで楽しい人でした。69歳という若さで永眠されましたが、クラブ会員一同残念な思いで一杯です。

謹んでお悔やみ申し上げ、ご冥福をお祈り申し上げます。

群馬境ロータリークラブ 会長 布施光一



文庫通信 (315 号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会講演より

- ◎「人として野球人として」 小早川毅彦 [2013] 8p (D.2530 地区大会記念誌)
- ◎「これからの日本について」 鳥越俊太郎 2013 2p (D.2740 地区大会記録)
- ◎「愛と汗の心」 久世郁夫 2013 13p (D.2510 地区大会記録誌)
- ◎「国際社会の中の日本」 五百旗頭真 2013 2p (D.2680 地区大会記録誌)
- ◎「平和って、なに色? ~ 私たちにできることを考えよう!」 ロニー・アレキサンダー 2013 2p (D.2680 地区大会記録誌)
- ◎「地域活性化と芸術 (アートフォーラム)」 北川フラム (コーディネーター) 2013 6p (D.2760 地区大会記録)
- ◎「誰も書けなかった沖縄」 佐野真一 2013 4p (D.2580 地区大会の記録)
- ◎「いま日本の平和を問う」 小川和久 2013 19p (D.2590 地区大会の記録)
- ◎「ガウディに挑む男を追う!! - 職業人としての使命」 星野真澄 [2013] 4p (D.2730 地区大会記録誌)

[上記申込先: ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日



第2840地区 10 月出席報告

クラブ数	会員数					
	年度初	月初	月末	純増減会員数	女性会員	当月出席率
46	1,875	1,907	1,922	15	81	83.29

クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数					
			年度初	月初	月末	増減	女性	
第1分区分A	前橋	4	85.40	111	110	111	1	6
	前橋西	4	82.84	52	52	52	0	4
	前橋東	5	86.29	65	65	66	1	4
	前橋北	3	87.6	64	70	70	0	5
	前橋南	4	96.10	32	32	32	0	0
	前橋中央	5	78.62	33	31	31	0	6
	合計		86.14	357	360	362	2	25
第2分区分A	桐生	3	81.88	61	62	62	0	0
	桐生南	5	75.35	23	23	24	1	0
	桐生西	4	84.92	53	52	52	0	1
	桐生中央	5	81.54	24	26	26	0	4
	桐生赤城	4	92.86	42	42	42	0	5
	合計		83.31	203	205	206	1	10
第2分区分B	伊勢崎	5	89.15	72	74	74	0	0
	群馬境	4	90.63	29	29	29	0	1
	伊勢崎中央	5	91.00	64	64	70	6	0
	伊勢崎南	4	80.95	21	21	21	0	1
	伊勢崎東	3	91.11	30	30	30	0	2
	合計		88.57	216	218	224	6	4
第3分区分	高崎	4	89.75	61	62	65	3	0
	高崎南	5	74.19	62	62	62	0	5
	高崎北	5	70.63	63	70	70	0	0
	高崎東	5	77.25	37	38	38	0	1
	高崎ソフィア	4	71.05	36	38	38	0	4
	高崎セトリル	4	67.88	34	36	36	0	0
	合計		75.12	293	306	309	3	10

クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数					
			年度初	月初	月末	増減	女性	
第4分区分A	太田	5	90.72	69	68	69	1	3
	太田西	5	90.03	15	18	18	0	2
	太田南	5	85.14	38	38	38	0	0
	新田	4	85.72	23	21	21	0	0
	太田中央	4	88.07	44	44	44	0	2
	合計		87.94	189	189	190	1	7
第4分区分B	館林	4	80.56	44	45	45	0	0
	大泉	5	80.02	25	28	28	0	2
	館林西	5	80.00	20	19	19	0	0
	館林東	5	94.99	25	26	26	0	2
	館林シニア	5	90.22	25	25	25	0	0
	合計		85.16	139	143	143	0	4
第5分区分	渋川	4	98.56	54	56	57	1	4
	沼田	5	75.00	60	61	61	0	1
	草津	4	72.05	16	16	16	0	1
	中之条	4	92.76	23	23	23	0	1
	沼田中央	5	64.38	51	53	54	1	1
	渋川みどり	4	80.54	40	40	40	0	2
	合計		80.55	244	249	251	2	10
第6分区分	富岡	4	91.22	48	48	48	0	4
	藤岡	5	87.28	43	44	44	0	1
	安中	5	75.00	28	28	28	0	0
	藤岡北	6	82.18	14	16	16	0	2
	富岡中央	4	83.95	42	41	41	0	1
	碓氷安中	4	83.93	14	14	14	0	2
	藤岡南	5	75.56	17	18	18	0	1
第6分区分	富岡かぶら	5	76.29	28	28	28	0	0
	合計		81.93	234	237	237	0	11



ガバナー月信についてのお願い

- ガバナー月信の配信は、毎月 1 日です。

また、2840 地区ホームページ <http://www.rid2840.jp> でも閲覧可能です。

- 出席報告の締切りは、毎月 14 日です。

出席報告は地区ホームページのトップページより入力してください。

なお、IDとパスワードは各事務所で御承知と思いますが、不明なクラブは本田ガバナー事務所までお問い合わせください。

- 原稿の締切りは、毎月 15 日です。ワードまたはエクセル書式で作成の上、メール添付し、本田ガバナー事務所 honda@rid2840.jp まで送信してください。

なお、写真等の画像がある場合は、デジタルデータでお送りください。

- 新会員情報並びに訃報の締切りは、毎月 15 日です。

(15 日以降のご連絡分につきましては、次月号の掲載となります。)

新会員につきましては氏名、入会日、職業分類、勤務先、役職、推薦者氏名を記入の上、写真を添えて、メールにて本田ガバナー事務所までお送りください。なお、訃報につきましてはクラブ会長様に 250 字以内で追悼文を作成いただき、メール添付をお願いします。

※この月信の P D F データを印刷して、各クラブの第一例会で会員の皆様に回覧いただきたくと共に会長の時間の中で要点を会員へお伝えいただければ幸いです。

編集後記

「ガバナー月信」12 月号いかがだったでしょうか？

今月は「家族月間」の特集として青少年交換委員会と RYL A 委員会にスポットを当て、長期交換プログラムで 1 年間留学を経験された学生と RYLA 研修に参加された方々の感想文を掲載しました。

「ロータリー家族」はロータリアンの家族はもちろんですが、財団学友、青少年交換学生、ローターアクター、インターアクター、RYLA 参加者などを含みます。ロータリーの包容力と温かさを感じさせる考え方ではないでしょうか。

さて、早いもので師走を迎えました。公私共に大変忙しい時期ですが、健康に留意し、素晴らしい新年を迎えましょう！

引き続きガバナー月信をよろしくお願いいたします。

2013-14 年度ガバナー月信編集長 温井尚久（前橋 R C）